



—第 27 号—

地域・だいがく連携通信

—神戸大学地域連携ニュース—

神戸大学地域連携推進室
〒 657-8501
神戸市灘区六甲台町 1-1
TEL : 078-803-5391
FAX : 078-803-5389
E-mail : ksui-chiiki@office.kobe-u.ac.jp

兵庫県との連携事業

兵庫県文化遺産防災研修会を開催しました

2020年9月7日、福崎町保健センターにおいて、中播磨地域を対象とした兵庫県文化遺産防災研修会が開催されました。本研修会は、近年頻発する自然災害から地域の文化財等を守るために企画されたもので、2018年度より人文学研究科地域連携センターと兵庫県教育委員会との共催で行われています。

今年度は、これまでの研修会で参加者から出た意見をもとに、より実践的でかつ地域の実情に即した具体的な研修会とすべく、次のような内容で実施しました。

まず、佐用町教育委員会の藤木透氏が、2009年の佐用町水害時における被災資料レスキューについての講義を行いました。次いで、本学地域連携推進室の松下正和による水損資料ワークショップと、人文学研究科の吉川圭太による福崎町域での災害を想定した資料レスキューシミュレーションが行われました。

当日は、中播磨地域の文化財担当職員ら11名の参加があり、「実際の災害を想定した内容がよかった」などの感想がありました。



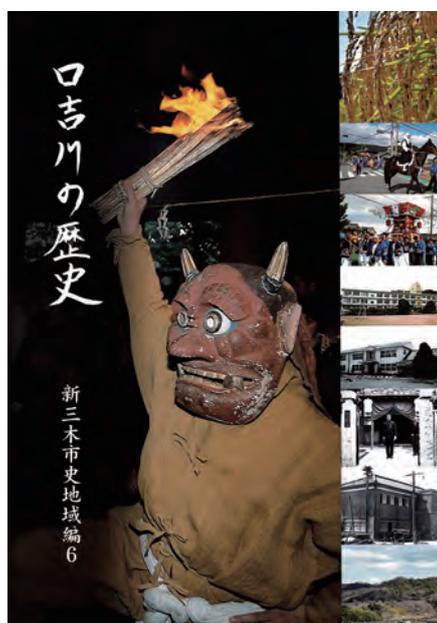
文化遺産防災研修会の様子

三木市との連携事業

新三木市史第1回配本・地域編6『口吉川の歴史』の発刊

三木市と本学は2013年6月に連携協定を締結しています。その一環として、新三木市史の編さん事業へ参画すべく人文学研究科から特命講師が出向して、事業に取り組んでいます。

三木市の編さん事業は、本編3巻、史料編4巻、地域編10巻というような比較的規模の大きな刊行計画のもと準備を進めています。とりわけ地域編は、対象となる地域にお住まいの方から有志を募り、資料調査だけでなく執筆にいたるまで直接編さん事業に関わっていただいております。その地域編の第1回配本であり、なおかつ新三木市史としても記念すべき第1冊目となる地域編6『口吉川の歴史』が2020年3月31日に刊行されました。今年度末には、地域編4『志染の歴史』の刊行を予定しています。



丹波篠山市との連携事業

地域の地蔵堂の「お世話ガイド」を地域の方々と作成しました

2020年8月18日、農学研究科・清水夏樹特命准教授が川阪集落のみなさんに聞き取りをして作成した「川阪 お堂のお世話ガイド」が、集落の住民のみなさんに配られました。

丹波篠山市の川阪集落に古くからある地蔵堂には、地蔵尊と集落内から移されてきた6つの社がまつられています。集落内で当番となった世帯が毎月掃除をしたり供え物を取り替えたりと「お世話」をしますが、その方法、各社の由来や御利益などについては言い伝えでしか残されていませんでした。若い世代や移住者からは「当番になったときにどうすればよいかわからない」、年配の住民からは「お世話の仕方が違う」などの声もあり、記録したものを作りたいと集落の話し合いの中で3年くらい前から話題になっていたそうです。

川阪集落を含む西紀北地区では、食農コープ教育プログラムのひとつである「実践農業入門」で2020年4月から学生の農業農村体験を受け入れていただく予定（新型コロナウイルスの影響で中止）で、授業の準備のため、地域の様々なことについて住民のみなさんにインタビューしていました。その中で、川阪集落の地蔵堂のお世話ガイドが望まれていることを知り、実践のお手伝いをするようになりました。

まずは当番世帯の役割や各社に供えられているものの名称などを地域の方に説明していただき、ガイドに載せるべき事項を整理しました。次に、地蔵堂の当番についての課題を聞き取り、必要な情報の表現の仕方を検討しました。当初から地蔵堂にまつられていた地蔵尊以外の6つの社が集落のどこにあったのか、お供えのサカキやシキミはお店で購入しなくてもご近所の庭や集落内の畑のそばで入手できることなどを地図形式で表しました。供え物の置き方などについては、写真を使って説明しています。そして、集落内の伝統や歴史に詳しい80～90歳代の方々に聞き取りをして、各社の謂われや御利益、かつて行われていたお祭りについても詳しい解説を加えました。原稿は集落の方々に何度か確認していただき、8月18日の村祈祷（むらきとう）の行事の日の前日に完成しました。言い伝えられてきたことを文字で目にした住民の皆さんも、あらためて知ったことがあったと語っていました。

今回のガイド作成は、教育プログラムやボランティア活動の大学生、地域探求学習に取り組む高校生にも学びと実践のよい事例になると思います。地元新聞でも取り上げられ、丹波篠山市の他の地区も関心をもってくださったようです。地域内外の多様な人びとが地域を知り、地域づくりにかかわるきっかけになる、そんな活動になればと考えています。



お堂のお世話ガイド



配られたお堂ガイドを読む住民のみなさん



地蔵堂全景



お参りの仕方を習います



集落の先輩方に聞き取り

丹波市との連携事業

保健学研究科と丹波市が「認知症予防事業に関する連携協定」を締結しました

2020年8月11日、保健学研究科と丹波市が「認知症予防事業に関する連携協定」を締結しました。本事業は、経済産業省と日本医療開発研究機構（AMED）が中心となった認知症対策官民イノベーション実証基盤整備事業に採択され実施することになりました。兵庫、東京、神奈川、愛知の4カ所で各地の研究機関などが協力して行う全国初の共同研究事業となります。これまでの神戸大学と丹波市で特定健診事業、認知症予防教室（動楽教室）を実施してきたことが評価され、丹波市が研究地域として選ばれました。東京など都市部の研究結果も踏まえ、都市部と農村部でどのような違いがあるかも分析していく予定です。

調印式は、丹波市健康センター ミルネ会議室で、神戸大学から品田裕理事、丹波市から谷口進一市長、秋田穂東院長（兵庫県立丹波医療センター）による挨拶があり、安田尚史保健学研究科長、谷口進一市長による協定書の調印が行われました。

その後、記者会見で研究責任者である古和久朋教授から今回の連携協定の内容である「認知症予防・健康寿命延伸のための介入共同研究事業」に関する説明があり、記者との質疑応答が行われました。多くの報道機関にご参加いただき、関心の高さが伺えました。



（左から）品田理事、安田研究科長、谷口市長

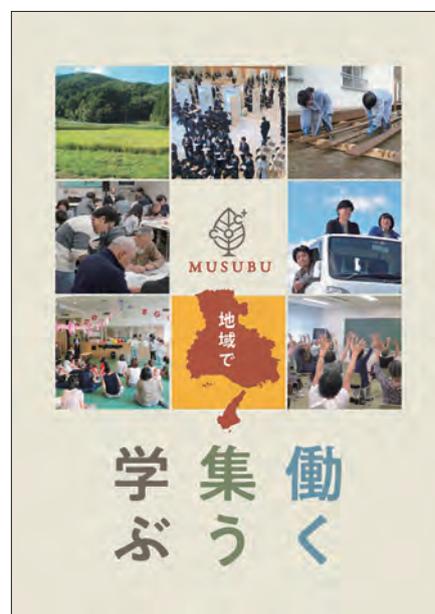
COC+

COC+ 地元定着インタビュー誌「地域で働く集う学ぶ」を発刊しました

2015年度から2019年度までの5年間、本学と兵庫県内の大学、自治体、産業界と連携して取り組んできたCOC+事業の成果として、地元定着インタビュー誌「地域で働く集う学ぶ」を発刊しました。

働く場として兵庫県を選んだ人は、どのような学びをしたのか。授業を通じて地域と出会い、その後もそこに通い、交流を続けるグループの活動は、地域を元気づけているに違いない。その活動にはそれを支える人たちの働きが重要な役割を果たしている。また、地域課題に取り組む研究者たちや領域ごとのコーディネーターたちの存在は、明日の地域のための基盤となっていく。こういった思いから、地域に関連する学生、サークル、卒業生、研究者、コーディネーターなどにインタビューを行い、一冊のパンフレットにまとめました。

ご興味のある方は、地域連携推進室までお問い合わせください。（連絡先は本紙1面参照）



令和2年度 地域連携公募事業

地域連携事業（教職員対象）

部 局	活 動 内 容
国際文化学研究所	「戦災アーカイブ資料」常設展示に向けた学術的な基礎作業
国際文化学研究所	大学と地域の連携による神戸・京都の観光振興
社会システムイノベーションセンター (経済学研究所)	経済学と医学の連携による文理融合・地域活性化事業
医学研究所	兵庫県内の医療過疎地域の高校生を対象とした 医療系人材育成促進事業
医学研究所	青少年のネット・ゲーム依存対策のための「神戸モデル」構想
医学研究所	丹波篠山産黒大豆（丹波黒）の積極的摂取による 大腸がん予防効果の調査
工学研究所	鶴甲団地・有野台団地 再生・活用プロジェクト

学生アクションプラン（学生対象）

団 体	活 動 内 容
神戸大アートマネジメント研究会	「ウィーンの情熱」関連事業 子どものためのコンサート第13弾 『フルート！フルート！フルート！～たたいてみよう 音楽のトビラ～』
World Theater Project Youth 神戸大学支部	映画で広がる子どもの豊かな未来とあったかいコミュニティの実現
工学研究科道場「未来社会研究会」 ステーキハーブパウダーチーム	ハーブソルト「神大ふるふる」の販促活動を通じた山之内地区の情報発信
母子健康応援プロジェクト	母子にやさしい街づくり
神戸大学保全生態学研究会	森林動態調査にもとづく都市緑地の持続的管理計画の提案

神戸大学・灘区まちづくりチャレンジ事業助成

団 体	活 動 内 容
人間発達環境学研究所（教職員）	鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト
神戸大学天文研究会（学生）	なだ星まつり
灘区地域活動センター(N.A.C)(学生)	灘区内の災害復興住宅の集会所におけるふれあい喫茶の運営、 戸別訪問活動
まちプロジェクト実行委員会(学生)	まちプロジェクト'20

活動報告（令和2年3月～令和2年9月）

3月	18日	(大学)	灘区まちづくりチャレンジ事業公募開始	
	23日	(大学)	地域連携事業・学生地域アクションプラン公募開始	
	25日	(大学)	地元定着インタビュー誌『地域で働く集う学ぶ』発行	
	27日	(大学)	『令和元年度神戸大学地域連携活動報告書』発行	
	30日	(大学)	地域づくりの基礎知識シリーズ5 『働き方とイノベーション』刊行	
	31日	(人文)	新三木市史地域編6 『口吉川の歴史』刊行	
4月	8日	(都市安)	第256回オープンゼミナール（第257回6/13、第258回7/11、第259回8/22）	
5月	22日	(大学)	神戸市大学連携実務担当者会議	
	6月	5日	(大学)	灘区まちづくりチャレンジ企画提案会
		29日	(大学)	地域志向科目「ひょうご神戸学」開始（以降第3Q開講）
	17日	(大学)	令和2年度第1回地域連携推進室会議	
7月	2日	(大学)	地域志向科目「地域社会形成基礎論」開始（以降第3Q開講）	
8月	11日	(保健)	保健学研究所と丹波市が認知症予防事業に関する連携協定を締結	
	18日	(農学)	『川阪 お堂のお世話ガイド』配布	
9月	7日	(人文)	兵庫県文化遺産防災研修会	